

平成31年度入学生 総合的な探究の時間 全体計画

府立 

桜塚
----

 高等学校 課程等 

全日制的課程
--------

普通
----

 科(系)

名称	(学校において定める総合的な探究の時間の名称) 『探究』
----	---------------------------------

学校の教育目標	<p>①学ぶ力をつける。次期学習指導要領を見据えて、生きて働く「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現等」の育成をめざす。</p> <p>②人間力をつける。学校行事・自治会活動・部活動等を通じて、生徒の達成感や自尊感情、豊かな人間性を育む。</p> <p>③地域社会との連携、国際交流を通じて、これからのグローバル社会の中核として社会で活躍し社会に貢献できる生徒を育てる。</p>
---------	--

学習指導要領 第1目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。</p> <p>(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>
-------------	--

目標	<p>(学校の教育目標と学習指導要領の目標を踏まえ、総合的な探究の時間を全体通して、学校として育成をめざす資質・能力を記入)</p> <p>様々な課題の探究によって、自ら「問い」を設定する力、必要な情報や知識を獲得する力、知識や情報を必要に応じて整理・分析する力、学習した内容を結論にまとめて表現・伝達する力を育む。また、探究活動をとおして、主体的に学習し、将来、主体性をもって社会に関わろうとする積極的で柔軟なマインドを育む。</p>
----	--

内容	探究課題	(学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)) 修学旅行のプランの最適解をつくり出す	実施学年	1年
	育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入)			
	<p>予算の上限を条件として提示した上で、旅行業者のアドバイスや情報を得ながらクラスごとに修学旅行の行き先・プランを作成し、全体のプレゼンテーションで行き先を1つに決定するという内容。主体的に学校行事の運営に参画するという当事者意識や責任感、様々な条件を勘案して最適解を出すために必要な活動やプロセスの体験、プロの旅行業者と一緒にプランを練り上げる事ではぐくまれる協働性やキャリア意識、プランの内容の検討を通じて習得する教科横断型の知識、自分たちのクラスのプランを実現するために必要なプレゼンを勝ち抜くための表現力やチームマネジメント力などが育まれることを期待する。また、行き先決定後も、次年度の修学旅行本番に向けて、事前学習としての探究活動を継続していく。</p>			
	探究課題	(学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)) 理想のロールモデルを追究する	実施学年	1-2年
	育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入)			
	<p>社会で活躍している人々の中から、自ら理想とするロールモデルを設定する。その人物の生き立ち、高校生活、職業選択、人生のモットー、生活意識などを多岐にわたり調査したりインタビューすることで、表面的な流行に左右されない堅実で主体的な進路意識やキャリア感を育てる。各自が提示したロールモデルはクラスで共有することで、全体の視野を広げ他者を尊重する意識を醸成するとともに、後半では、ロールモデルが社会をどう変えるかという視点から、VUCA World(将来を見通す事が困難で「正解」のない時代)を生き抜くために必要な7つのC(Curiosity=好奇心、Challenge=挑戦意欲、Communication、Coutesy(礼儀)、Characteristics(特性・個性)、Collaboration(協働)、Contribution(貢献)を育成する。</p>			
	探究課題	(学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)) 防災の観点からの地域研究	実施学年	2年
	育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入)			
	<p>南海トラフ地震がかなりの確率で予想される現状で、防災はきわめて今日の課題である。地域連携を進めてきた本校では、地元市役所、社会福祉協議会、国際交流協会とのこれまでの連携を活かして、防災の観点からの地域研究を実施する事で、高齢者、外国人、子どもたちを中心とした災害弱者といわれる人々たちを視野に入れて共生の理念を育む。その中で主体的に果たすべき自らの役割を考える姿勢を育む。本校と協定を締結している岩手県立大槌高校と協働して、東日本大震災と震災後の復興状況を学び、自らが暮らし地域の防災を考え、様々な立場の人々と意見交換や提言ができる力を育てる。</p>			
	探究課題	(学校として定めた目標を達成するにふさわしいテーマ(学習対象)) 私たちが生きるこれからの世界に必要なこと	実施学年	3年
	育成をめざす具体的な資質・能力 (探究課題との関わりを通して、どのような生徒の姿を実現するか、具体的な資質・能力を記入)			
	<p>1・2年で学んだ探究学習のメカニズム(課題の設定・情報の収集・整理分析・まとめと表現)を使って、自ら関心を持つ分野を選んで、「これからの世界に必要なこと」と題して課題解決をめざす取組み。具体的なテーマは、生徒それぞれが個人もしくはグループとして興味・関心・希望進路に基づいて設定する。1・2年でやってきた探究学習の集大成であり、自らの卒業後の進路にも大きく関わる。主体的に進路決定ができる生徒を育てるとともに、進学後や社会に出た後を見据えたキャリア意識を育む。また、進路実現のために必要な学力を、教科学習との相乗により高めていく。</p>			